

出前講座 報告書

開催日時	平成29年8月24日(木) 18時30分～20時00分		
開催場所	上野図書館2階視聴覚室		
申請団体等名称	明日の伊賀市図書館を考える会 (5名)		
テーマ	南庁舎利活用案(特に図書館部分)についての現在の状況について		
委員会名等	教育民生常任委員会		
出席議員	森川徹(委員長)、百上真奈(副委員長)、川上善幸、信田利樹、西口和成、桃井弘子、		
	赤堀久実、生中正嗣、傍聴者(福村教親、山下典子)	記録者	百上真奈

【講座・意見交換等の主な内容、対応等】

【委員長より挨拶及び現状報告】

前回の出前講座から特に進展はなく、南庁舎を活用するかどうかは決まっていない状況の中で、図書館のことについては報告することはない。今日は南庁舎に図書館を入れることには聞き置くしかできないと挨拶。

【各議員より自己紹介等】

新人議員もいたため、改めて自己紹介を兼ねて、個々の図書館の思い出や考え方を発言しました。議員からは、図書館のことを気にかけるようになり、視察先や私用であっても、図書館を見に行ったり調べたりしているとの発言もありました。

考える会の方からは、考える会が望む図書館の機能をまとめた通信を配布していただき、議員もそれを参考にしながら、意見交換をしました。

【考える会より】

・南庁舎地に新築を望むが、財政的に無理なら、みんなに喜んでもらえるような、使い勝手の良いものを作ってほしい。

・市が提案している図書館については、考える会として問題部分が多いと考えている。

・設計を作る段階で、市民の意見を取り入れていただきたい。

・設計の段階で、図書館の設計をした経験のある方に入っていただいたり、司書やTRC(図書館流通センター)など、専門家の意見を取り入れていただきたい。

・今回、基本設計や実施設計を作るための予算は凍結されているが、凍結が解除されたら自分たちの意見はどこに取り入れてもらえるのか。市の考えている配置で図書館を作ることは、不安である。行政にも直接、話を聞いてもらいたい。

等の意見が出されました。

【委員会より】

・市が提案している南庁舎に入れる機能やレイアウトについては、市長の発言により0ベースになった。

・賑わい創出の担当課に直接、みなさんの考えを伝えることをすべきである。

・市民をもっと巻き込んで、こんな図書館を作ってほしいと声をあげることも必要。

等の意見を述べた。

【考える会より】

「子どもの読み聞かせをしていると、ほんとうに上野図書館は情けない状況。名張の市議団で図書館の視察に行くとの話を聞いた。個人的に行っても図書館長の話が聞けない。ぜひ、議員と一緒に視察に行き、進化している図書館を知っていただきたい。今は、小さな町や村でも絵本で町おこしをしている。伊賀らしいどんでん返しのある図書館でもいいから、市民が求める、納得のいく図書館を作っていただきたい。」と熱い思いが語られました。

【おわりに】

委員長より「議会としても、図書館を軽視しているわけではない。新しい図書館をどう作っていくか、市民を巻き込んで市民が望む図書館をどう作っていくか、さらに考えていきたい。教民主導で図書館視察ができるのか事務局と考えたい」と述べて出前講座を終了しました。

伊賀市議会議長 様

平成29年 9月 6日

議会出前講座実施要綱第11条第1項の規定により提出します。

教育民生常任委員会委員長 森川 徹